



# ミニトマト編



病害虫注意報  
2018年7月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 育苗期定植時の防除特集

黄化葉巻病は定植後の生育初期に発病株が急増します!

### おすすめローテーション

主な感染時期は育苗期後半から生育初期と考えられています。  
粒剤や黄色粘着板等を活用して防除していきましょう!

①	<b>ダントツ水溶剤</b> 2,000~4,000倍 前日/3回 (ハチ15日) ※ハチグリバI類は2,000倍	コナジラミ類、アブラムシ類 ハチグリバI類
②	<b>カウンター乳剤</b> 2,000~3,000倍 1番花の開花まで/4回 (ハチ1日) ※ハチグリバI類、アザミウマ類は2,000倍	コナジラミ類、ハチグリバI類 アザミウマ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ
③	<b>ベストガード水溶剤</b> 1,000~2,000倍 前日/3回 (ハチ10日以上)	コナジラミ類、アブラムシ類 アザミウマ類

## 育苗期・定植時 コナジラミ類 おすすめ防除

※ハチの影響日数を考慮していずれかを選択してください。

下記粒剤は時期によって**使用方法**が異なります。ラベルをよく確認してください。

**ベリマークSC 薬量25ml/400株**  
(ハチ影響日数1日) 水量10~20L/400株

灌注剤

※定植3~5日前処理が  
オススメです!

**アルバリン粒剤 1~2g/株**  
(セイヨウマルハナバチ: 10日  
クロマルハナバチ: 22日)

粒剤

※育苗期1回、定植時1回ずつ  
使用可能です!

**ベストガード粒剤 1~2g/株**  
(ハチ影響日数30日以上)

粒剤

※育苗期に処理した場合、  
定植時には使用できません!

粒剤施用例



育苗期 株元処理



定植時 植穴土壌混和

### 物理的防除を併用しましょう!

周辺雑草をしっかり除草!  
コナジラミの発生源となります!

**黄色粘着板で捕殺**  
株の新芽あたりに  
ぶら下げておくと効果的!

ネットの目合いは0.4mm以下  
これより大きい目合いだと  
コナジラミが通過してしまいます

### おすすめ資材

定植時のどぶ漬け処理で活着促進!  
毛細根充実に!

**ファイトオーツ**  
どぶ漬け・葉面散布  
1,000倍



### 変更情報

**トランスフォーム  
フロアブル**

※ハチ影響日数変更!

マルハナバチ 2日



**2~5日**

ご注意ください!

